



昭和35年頃の本町屋台

11月1日～7日は文化財保護強調週間

受け継がれる「地域の宝」

文化振興課 ☎(94)2152

各地域には特色ある多くの文化財が残されています。文化財は歴史や文化を知る上で欠くことのできない先人からの「宝物」です。現代の私たちが大切に受け継ぎ、次の世代に残していきたいと思います。

文化財とは

文化財は、建造物や絵画などの「有形文化財」、芸能や工芸技術などの「無形文化財」、年中行事などの風俗慣習や生活の推移を知れる民具などの「民俗文化財」に区分されます。近年、少子高齢化などにより、後継者が減少し、継承が困難な文化財も少なくありません。

300年以上続いた本町屋台

本町屋台は、本町町内会が所有する屋台です。360度回転する「回り舞台」で構成されている屋台には、重厚かつ華麗な彫刻や金欄などの織物が装飾され、町人文化の象徴で長年市民に親しまれてきました。

屋台は、神炊館神社の秋季例大祭で披露され、舞台では

狂言や舞踏などの演目が行われました。度重なる大火や事故などにより損傷することもありましたが、大規模な修繕を行いながら、昭和の時代まで続きました。

本町屋台再建プロジェクト

長年親しまれた屋台も、道路事情の変化などにより、年々祭礼で披露されることが減り、本町屋台は昭和44年の披露が最後で、これ以降、収



再建プロジェクトにより令和3年に一般公開された本町屋台

納庫に保管されていました。東日本大震災の後、屋台の部材が無事であることが分かり「まちを明るく元気にしたい」という思いから、平成28年、町内会有志による「須賀川市本町屋台再建プロジェクト」が発足し、令和2年には、日本大学工学部の協力を得て、50年振りに再建され、当時の姿を現しました。



細部にわたり精巧な彫刻

本町屋台は、現在でも舞台が回転可能なことや彫刻なども良好な状態で保存され、市内のほかの屋台再建にも大きく寄与すると考えられています。また「本町文書」は明治期からの屋台の歴史などを記録しており、重要な資料として

継承にむけて

指定を受けているものだけが「文化財」ではありません。それぞれの地域で大切にされてきた「地域の宝」も貴重な市民の財産です。これらの宝物は、今日まで当たり前に残ったのではなく、多くの先人たちの努力によって存在しています。

受け継いだ地域の宝を現代に生きる私たちが生かし、大切に次の世代に手渡していきたいと思います。

■ 展示会「井上泰幸展 円谷英二を支えた特撮美術の技」

円谷英二監督の右腕 その特撮美術の技を知る

文化振興課 ☎(94)7174

11月11日(土)から26日(日)まで、展示会「井上泰幸展 円谷英二を支えた特撮美術の技を開催します。緻密な調査と正確な設計で本物と見間違えるほどのセットを作り上げ、円谷英二監督を驚かせたという特撮美術監督・井上泰幸氏が遺した数万点に及ぶ絵コンテや図面、デザイン画などの資料が須賀川特撮アーカイブセンターに収蔵されました。特撮美術の「技」を知ることが出来る貴重な展示をぜひご覧ください。



「空の大怪獣 ラドン」岩田屋再現ミニチュアセット(「生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展」展示風景、東京都現代美術館、2022年)



作業中の井上泰幸氏

期間 11月11日(土)～26日(日)
開館時間 午前9時～午後5時
会場 t e t t e l 階「ルムー」たいまつホール
休館日 11月21日(火)
展示会の構成

▼「空の大怪獣 ラドン」の再現ミニチュアセット(県内では初公開)
▼代表的な作品の資料 など

井上泰幸氏とは

井上氏は数多くの特撮作品の特撮美術(ミニチュアセットなど)を手掛け、円谷監督最後の映画作品である「日本海大海戦」などの作品で特撮美術監督を務めるなど、円谷監督の右腕として活躍しました。

すかがわ No.4 スポーツ通信

市のスポーツに関する話題などをシリーズで紹介いたします。
☎市スポーツ推進委員連絡協議会(生涯学習スポーツ課内)
☎(88)9174

ニュースポーツ紹介「ネオテニス」

子どもから大人まで誰もがテニスを楽しめるようアレンジされたスポーツです。

ネオテニスの特徴

▶ラケットはバドミントン用を使用し、子どもでも軽く扱いやすい

▶ボールは直径8cmのスポンジボールでスピードが抑えられ、ラリーが楽しめる

▶オーバーサービスとバウンドサービスの2種類のサービスがあり、子どもや高齢者でも打ちやすい

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ラケットとボール



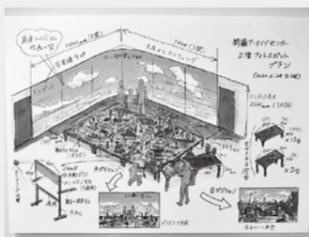
ニュースポーツ
ネオテニス

すかがわ No.26 特撮シリーズ

特撮に関する情報をシリーズでお知らせします。
☎文化振興課 ☎(94)7174

特撮の仕事～特撮美術～

ビルや民家や橋などの建築物、山や森や川などの自然の地形、宇宙基地や怪獣の空想の設定など、特撮作品に登場する舞台



の全てをミニチュアで作りに上げていく仕事の特撮美術です。台本には文字しか書かれていないため、そこからイメージをデザインし、ミニチュアセットに具象化していきます。

須賀川特撮アーカイブセンターには、ミニチュアセットを展示していますのでご覧ください。